

## 仲間と共に社会人としてのマナーを学ぶ

校長 西尾 英憲



3年生は東京研修前に社会人としてのマナー、公共の場での集団行動ができるように時間行動と仲間との声かけに取り組みました。研修当日は、集団でまとまって動くことが良くできていて、予定にはなかった皇居の見学をする時間を生み出しました。また3日目のグループ研修では、大雨を考慮してコースを工夫し、都内見学をすることが出来ました。

2年生は、若狭研修前に、学年執行部、各委員会班でのそれぞれの役割をきちんと行って、当日を迎えました。「箸づくり」「カヤック」「魚釣り」と「魚捌き」「民宿の方と語る会」など若狭ならではの体験をしました。カヤックは、2人乗り。ペアで息を合わせてオールを漕ぎ、力を合わせることを楽しみました。魚捌きは、初めての生徒が多くいました。自ら捌いた魚の味は格別。「いただきます」の意味を考える機会になりました。民宿の方と語る会では、資料を使って説明したり、若狭小浜地区の暮らしや民宿の仕事について質問したりして交流を深めました。どの活動でも、自らの役割をきちんと行い、「仲間のよさ」を認め合える研修になりました。2、3年生ともに学校とは違う場所で、協力し合い、支え合うなどの体験をすることで、自分や仲間のよさに気付いたり、人間関係を深めたり、命の大切さを学んだりすることができました。何より、自ら働きかけることで味わう楽しさは、最高だったはずです。家でも地域でも、生徒達が「自ら働きかける」機会を与えて頂きたいと思います。

◇ キャンペーンで身に付けた時間意識がすごかった。1日目は、(予定にはない)皇居に行けたり、早くホテルに入ったりできました。3日目(グループ研修)も集合時間に間に合って早く出発できたのがよかったです。

◇ 駅や店で働いている人がたくさんいて、何かわからないことがあって聞くと、確実な方法を教えてくれたから、自分が仕事をするとき、自分の仕事をなんとなくじゃなくてしっかり知りたかった。

◇ 東京は人がとても多く、駅とかも複雑だった。恵那に帰ってきた時の安心感がめちゃあった。(3年生徒感想を一部抜粋)

